

REEL WITHOUT NEED FOR REEL THREAD

Publication number: JP61206774

Publication date: 1986-09-13

Inventor: TABATA HISAO

Applicant: TABATA HISAO

Classification:

- international: B65H75/22; B65H75/40; B65H75/18; B65H75/38;
(IPC1-7): B65H75/38

- european: B65H75/40

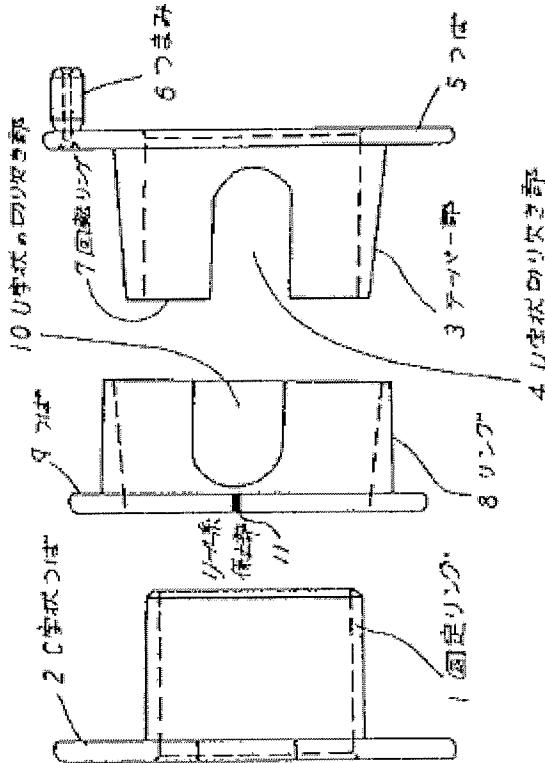
Application number: JP19850049695 19850312

Priority number(s): JP19850049695 19850312

[Report a data error here](#)

Abstract of JP61206774

PURPOSE: To remove a wound thread easily by furnishing a pipe with a U-shaped notch, fitting a flange at its end, combining two pieces with a taper on a cylinder into a set of rotary ring, and by combining with a stationary ring having a C-shaped flange. CONSTITUTION: A stationary ring 1 is formed by fixing a C-shaped flange 2 to the periphery of one end of a hollow pipe having an appropriate width, dia. and wall thickness, made of plastic, metal, etc. with proper strength. A rotary ring 7, which has a knob-equipped 6 flange 5 having an inner dia. a little larger than the outs. dia. of said stationary ring 1 and provided at its periphery with taper 3 and a plurality of U-shaped notches 4, is combined with the bore taper of a ring 8 having U-shaped notches 10 and flange 9 correspondingly, to form one rotary ring, which is combined with the above-mentioned stationary ring 1 to provide a reel without need for any reel thread. This enables easy removal of wound thread as well as provides practicability for using as a hand reel.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報 (A) 昭61-206774

⑤Int.Cl.⁴
B 65 H 75/38

識別記号 庁内整理番号
7030-3F

⑪公開 昭和61年(1986)9月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑬発明の名称 不用リール糸リール

⑭特 願 昭60-49695
⑮出 願 昭60(1985)3月12日

⑯発明者 田 幡 久 雄 浜松市小沢渡町1836番地の1
⑰出願人 田 幡 久 雄 浜松市小沢渡町1836番地の1

明細書

1 発明の名称 不用リール糸リール

2 特許請求の範囲

適當な幅と肉厚、大きさで強度のある合成樹脂、金属等の中空パイプの一端の外周に、適當な幅と大きさのロ字状つば2を付けた固定リング1を設け、強度のある合成樹脂、金属等で固定リング1の外径より少し大きい内径を適當な幅と肉厚で外周とし、テーパー部3とし、テーパー部3の小径側の端部から大径側に向かた適當な大きさのロ字状切り欠き部4を設け、テーパー部3の端部の外周に適當な幅と大きさのつば5を設け、つば5の外側の適當な位置につまみ6を付けた回転リング7のテーパー部3に、適當な弾力材、例えば、合成樹脂、ゴム等で内径をテーパー部3に合わせた適當な幅と肉厚のリング8の小径穴側端部の外周に適當な幅と大きさのつば9を設け、リング8の大径穴側の端部から小径穴側に向かたロ字状の切り欠き部10を設けてはめ合わせ、固定リング1と回転リング7を左右から組み合わせた、不用リール糸リ

一 舌

3 発明の詳細な説明

⑩ 産業上の利用分野

つり具

⑪ 従来の技術

適當な板に巻き付けていた。

⑫ 発明が解決しようとする問題点

従来、上記の様な方法があつたが下記の様な問題点があつた。

(1)なかなか適當な板がなく、又、板に巻いたつり糸がしまって取れなくなるので、板と共に付けていた。

⑬ 問題点を解決するための手段

本発明は、上記の様な問題点を解決するための手段で図面について説明すれば、適當な幅と肉厚、大きさで強度のある合成樹脂、金属等の中空パイプの一端の外周に、適當な幅と大きさのロ字状つば2を付けた固定リング1を設け、強度のある合成樹脂、金属等で固定リング1の外径より少し大きい内径とし、適當な幅で外周を適當なテーパー

一部3として、テーパー部3の小径側の端部から大径側に向けた適當な大きさのロ字状切り欠き部4を設け、テーパー部3の大径側端部の外周に適當な幅と大きさのつば5を設け、つば5の外側の適當な位置につまみ6を付けた回転リング7のテーパー部3に、適當な弾力材、例えば、合成樹脂、ゴム等で内径をテーパー部3に合わせた適當な幅と肉厚のリング8の小径穴側端部の外周に適當な幅と大きさのつば9を設け、リング8の大径穴側の端部から小径穴側に向けたロ字状の切り欠き部10を設けてはめ合わせ、固定リング1と回転リング7を左右から組み合わせた、不用リール糸リール。

◎作用

回転リング7のテーパー部3にリング8をはめ、固定リング1に回転リング7をはめて不用リール糸リールとし、リールの不用になつたつり糸の先端部をリング8のリール糸係止部11にはさめて止めておき、左手で固定リング1のロ字状つば2と穴部をつかみ、右手で回転リング7のつば5に

付けたつまみ6をつまんで巻く。

不用リール糸リールに巻き終えたリール糸12を取り出す時には、固定リング1と回転リング7を分解してから回転リング7のテーパー部3に付けたリング8を左右のロ字状切り欠き部の所を第5図の様に持って抜き取り、第6図の様に左手でリング8のつば9の所を持ち、右手でロ字状の切り欠き部10の所でリール糸12の内外からつかみ弾力材で出来たリング8を変形させながら抜き取る。

なお、本発明は船づりでハンドリールとしても使用出来る。

◎実施例

(1)上記の様に、不用リール糸リール。

(2)船づりでのハンドリール。

◎発明の効果

(1)適當な板をさがす必要はなく、つり糸12がしまって取れなくなる事がない。

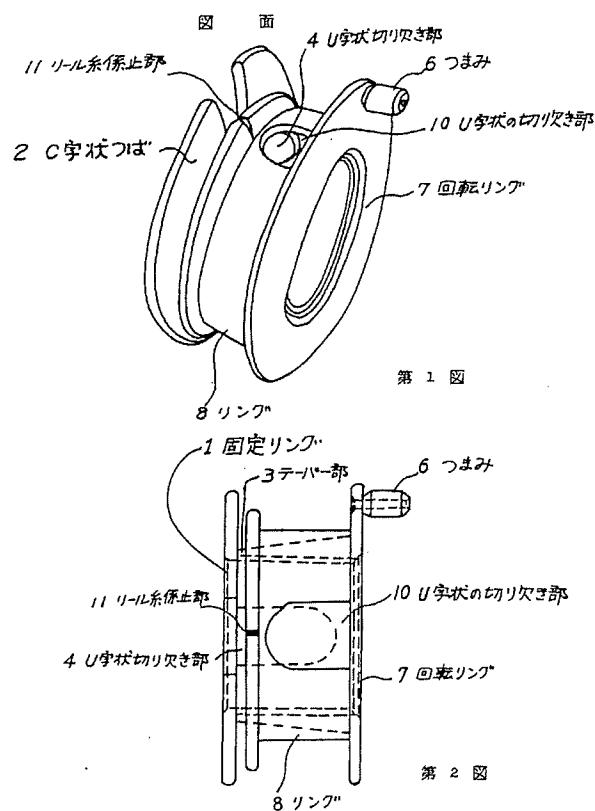
(2)つり糸12のみをまとめてする事が出来る

(3)船づりでのハンドリールとしても使える。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の斜視図 第2図は本発明の組立図 第3図は本発明の分解図 第4図は本発明の糸巻き実施図 第5図は本発明のリング8取出図 第6図は本発明によるリール糸12の取出図 第7図は本発明をスピニングリールに応用した時のスプール 第8図は本発明をスピニングリールに応用した時のリング斜視図 第9図は第7図と第8図を組み合せドラグツマミ16で固定した図

1は固定リング 2はロ字状つば 3はテーパー部 4はロ字状切り欠き部 5はつば 6はつまみ 7は回転リング 8はリング 9はつば 10はロ字状の切り欠き部 11はリール糸係止部 12はリール糸 13は手 14はスプール 15はリング 16はドラグツマミ



特許出願人 田嶋 久雄

